

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 2月 1日

事業所名: 木の実教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	参加人数に合わせて広いスペース(ホールや体育館)の使用など	
	2	職員の配置数は適切であるか	6	0	職員以外にもベビーシッターを配置し余裕を持って保育できるように	体制上余裕がない日は法人内で協力し合いながら余裕のある職員配置をしていきたい。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	0	生活の流れが見てわかる構造に。	くみはバリアフリー化はされているが、木の実は段差などもある。必要に合わせて工夫は必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	0	毎日の掃除・消毒等の徹底。	片付けなど徹底し危険個所の無いよう日々気を付けていきたい。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	0	保育後は毎回反省会を実施	職員全体で意見を出し合い、子どもや保護者の姿をとらえられるよう努めていきたい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	年に1回実施	毎年頂く保護者の皆さんの声をしっかりと業務に生かしていけるよう努めたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	ホームページへの掲載。	法人のホームページに各事業所の自己評価を掲載しています。保護者の皆様にも事業所評実施時にお知らせし、皆様に浸透できるようこれからも務めていく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	園内での研修の実施。園外・法人での研修の周知・参加。	パート職員も研修に参加しやすいよう計画・実施していく。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	法人発達相談員や保健師との連携を持って、ニーズや課題を見つけ作成している	保護者の思い・子どもの思いや願いに合わせた計画を作成できるように、信頼関係を大切に築き上げていきたい。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0		発達相談では、アセスメント用紙を作成し、保育士・保護者等より情報をつめるようにしている。
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	保健師さんとの連携を大切に、申し送りや課題を把握している。	親子での集団生活。地域や発達相談員との連携を大切にしていきたい。

適切な支援の提供

13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	6	0	毎日の反省会や報告会で確認。	伝達簿などを利用し保育士間の連携も大切に、全員で同じ支援が行えるようになっていきます。
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	職員会議などで予定の確認や立案を行っている。	保育が固定されたり偏らないよう、リーダーを中心に職員全体で相談できる環境を大切にします。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	リーダーが中心となり内容を工夫し保育を行う。	保育が固定されたり偏らないよう、リーダーを中心に職員全体で相談できる環境を大切にします。
16	(放課後等デイサービスののみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか				
17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	保育士・発達相談員で話し合いをし、その都度対応していく。	状況に早急に対応できるよう保育士だけでなく、何かあったときには地域とも連携をすぐに取りれるよう環境を整えていく。
18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	毎日の朝礼で行っている。	朝礼だけでなく詳細については事前に打ち合わせをしたり、当日朝礼後に確認したりと全体で共有できる時間を大切にしています。
19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	毎日振り返りと反省を行っている。	反省やその日の保育は記録し、出勤していなかった職員は確認することを、今後も徹底してまいります。
20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	・日誌・伝達簿に記録	反省など次に生かせるよう記録し、出勤していなかった保育士の確認・伝達を徹底、ヒヤリハットの記録からトラブル防止に努めます。
21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	半年に1回のモニタリングの実施・見直しを行っている。	引き続き定期的にも実施し見直しの必要性を見極めていきます。
22	(放課後等デイサービスののみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか				
23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	セルフプランが主。	会議が行われる際は管理者だけでなく、発達相談員や相談員、保育士なども参加して行っていきます。
24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	0	連携は重要視し、大切にしている。発達相談には保健師さんも同席してもらっている。	保護者同意のもと保健師さんに必要時は報告や相談を行うなど今後も密に連携できるようにしていきます。
25	(放課後等デイサービスののみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか				
26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	0		

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1	0		
28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	0	希望があった時点で、見学や体験を実施。体験には同行し、移行が決まってからは申し送りをを行い相互理解を深める。	就園先には申し送りを丁寧に送れるよう時間を設けていただいています。必要に応じて、教室に来ていただくようお願いをさせていただいています。
29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	0	2		就学対象児はいませんが、上記のように就園先には全園児申し送りをを行い、就園後も必要があれば連携を取っていきます。
30	(放課後等デイサービスののみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				
31	(放課後等デイサービスののみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				
32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	0	法人内事業所やセンター等と連携を取ったり専門機関に訪問し学習会などを行っている。	地域との連携、和歌山県の障害児保育運動連絡会の活動を通じ学習会に参加したり、交流会などの計画されています。法人内にも他機関あるため活用したり合同での研修を実施していきます。
33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	5	利用児には並行通園児が通っています。	保育園と並行通園している園児との交流がありますが、周知されていないことも多く交流会などで輪を広められるよう検討していきます。
34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	4	事業所として、協議会には参加していないが参加している法人内で情報を共有している状況。	今後も法人内での情報交換を密にしていける。
35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	親子保育の為相互の姿を伝えあったり、課題を共有している。	普段から大切に、重要視していることのひとつです。さらに共通理解を深め、信頼関係を深められるよう努めています。
36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6	0	保護者学習会・講習会・交流会などを実施。	年間で企画し、実施。内容についてはその年に合わせ検討していきたいです。
37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	入園時に説明している。	これからもわかりやすく説明し理解していただけるよう努めています。
38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	6	0	計画を作成後、保護者と面談し説明を行っている。その後、署名・印鑑を頂き同意を得ています。	これからもわかりやすく説明し理解していただけるよう努めています。
39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	随時面談の実施。電話でのやりとりなど。	必要に応じて面談を実施。できる限り迅速に対応し安心していただけるよう丁寧な関わりに努めています。

保護者への説明責任等	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	0	勉強会や交流会を通じて保護者同士の連携を支援	コロナの制限もなくなり楽しい交流会もできるようになっています。引き続き、参加したい、参加してよかったと思っていただけるような内容にしていけるよう努めていきます。
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	すぐに対応していますが、日程が合わない時などには日程を調整し面談などを設けています。	出来る限り迅速に対応させていただきます。また都合が合わない場合などは、ご理解いただいた上で日程を合わせ後日面談等を設けていきます。
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	手書きの温たかいおたより。月1回の園だよりを発行しています。	法人の通信なども配布させていただき、教室内だけでなく法人の情報などもお知らせしていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6	0		職員室はすべて鍵のかかる棚ですが、職員が不在時もあります。閉園時にはセキュリティ対策を行っています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	保護者や児に合わせた対応しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	0	クリスマス会にはサンタ役を地域の方に毎年お願いしています	地域の方々で子ども達をかわいがってください。これからもこのつながりを大切にできるよう努めていきます。
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	1	訓練は年間計画で実施し、マニュアル等を作成している。	その都度変わるマニュアルなど、その都度周知できるよう努めていきます。
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1	毎年訓練を実施。消防署訪問など。備蓄の準備・管理を行っている。	職員研修でも不審者対応などを行っています。今後も幅広く非常時について研修を行っていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6	0	入園時に聞き取りを実施。	健康台帳にも記入していただきますが、必要に応じて病院に同行し指示を頂くことなどもあります。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	6	0	健康台帳等への記入。食事のアンケートの実施を行います。	入園時には医師の意見書や指示書などの提出をお願いし、食事については内容を保護者と相談しながら丁寧に対応していくよう努めていきます。
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	発生時には指定の記録用紙に記入し職員全員に伝達し再発防止に努めます。	園内での再発防止は当然のこと、発生後には法人内の会議などでも共有し、他園でも再発防止にも繋げていけるよう努めます。
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	虐待研修の実施。法人内の虐待セルフチェックを年3回実施	セルフチェックはまとめ、気になることがあるときには職員間で話し合いを行い全体のものとしていきます。
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	3	身体拘束等適正化委員会を設置。対象者はいませんが研修などを実施します。	研修等で職員全員に周知できるようにさらに努めていきます。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 2024年 2月 1日

事業所名: 木の実教室 保護者等数(児童数) 回収数 27/37 割合 72 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	27	0	0		木の実は屋外スペースが欲しい	くろみ教室での開催時は広さに余裕があり、園庭も広くのびのびと遊べるようになっていきます。木の実での開催時はスペースも限られているため少人数時の開催にするよう心掛けていきます
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	26	0	0	1	子どものことをよく見てくれる	職員配置は5:1が基準。できるだけゆったり保育できるよう、職員を配置したいです。
	③	障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や子ども本人にわかりやすい使い方、また、生活しやすい空間になっているか	26	0	0	1	門が開いている時間が不安	園は大きな道に面し危険もありますので、登園後には門を閉めています。これからも最大限の注意をしていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	27	0	0	0	きれいで明るい心地よい	机やおもちゃなど使用しない時には片付け、子ども達の活動がしやすいよう配慮しています。掃除・消毒は毎日行い清潔な環境づくりを心掛けていきます。
適切な 支援の 提供	⑤	児童発達支援計画は、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで作成されているか	24	0	0	3		引き続き、お子さんや保護者の方々の思いをくみとった支援計画を作成できるよう、信頼関係を深め大切にしていきます。
	⑥	児童発達支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	23	1	0	3		支援に必要な項目を選択し、設定して計画を立てています。今後も必要な項目を選択できるように知識を広げていく努力をしていきます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	24	1	0	2		計画に沿った支援ができるよう、職員で連携を大切にこれからも保育していきます。
	⑧	保育内容が固定化しないよう幅広い活動になるよう工夫されているか	25	2	0	0	色んな活動があり刺激になる	子どもだけでなく保護者の方も一緒に楽しんでもらっており、嬉しい。これからは親子で楽しめる楽しい保育を計画していきたい。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	23	0	機会がない	並行通所のお友だちとの関わりなど園内で少しはあるものの、地域の保育所との交流などの機会は持っていません。検討課題の一つとして今後取り組んでいきます。
保護者 への 説明 等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26	0	0	1		入園時に説明させていただいています。ご理解いただけるようこれからも努めていきます。
	⑪	児童発達支援計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	25	2	0	0		支援計画を確認してもらいながら説明させていただき、終了後1部をお渡ししています。
	⑫	保護者に対して家族支援として保護者教室・保護者交流会が行われているか	24	0	0	3		保護者学習会・交流会・先輩保護者との交流などを計画し実施しています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	22	3	0	2	親が気づかない部分を教えてくれるのでうれしい	毎回親子での保育の為、情報共有を大切にしています。一緒に子育てを考えさせてもらえるよう、丁寧な関わりを心掛けます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	3	1	5	毎回気にかけてくれる	定期的には発達相談や交流会を実施。また必要に応じて個人相談で対応しています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	20	3	0	4		年齢別や全体で交流会を実施しています。随時入園してきてくださいますので、回数を増やすなど検討していきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	21	1	0	4	相談するとすぐに対応してくれるので安心	出来る限り迅速に対応できるよう、職員連携を行っています。これからも、適切に対応できるよう努力していきます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	27	0	0	0		積極的に様子などを伝えながら意思の疎通を図り、信頼関係を深められるようこれからも努めていきます。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	22	1	0	4		月に1回園だよりを発行しています。わかりやすく、楽しめる内容を提供できるよう努めていきます。評価についてはホームページで公表しています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	25	0	0	2		個人情報の取り扱いについては入園にあたり「同意書」を提出していただいています。

非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	20	0	0	6		くるみ教室では独自のマニュアルを策定し、閲覧できます。職員で役割分担をし訓練をしたり不審者研修なども行っています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	2	1	6	やっていない	年に1回親子で訓練を行います。その機会に避難場所の確認など意識統一できるような心掛けます
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	23	2	0	1	慣れてきたようで楽しそう	楽しんで通ってくれていること嬉しく思います。初めての集団の場、ひとりで抱え込まず一緒に子育てさせてもらいたいです。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	24	2	0	0	手厚いサポートが助かる	さらに保護者の方々の思いに寄り添い、安心して通える教室を目指して努力していきます。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 2024年 2月 1日

事業所名: 木の実(わんぱく教室) 保護者等数(児童数) 17 回収数 13 割合 76%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	0	0	1	参加人数が多いと狭く感じる	基準の広さは確保していますが、ご意見の通り人数が多い日は親子ということもあり手狭に感じることがありますので、年齢別に分けての保育なども検討していきます
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	0	0	1	毎週にしてほしい	職員配置は5:1が基準ですが、できるだけゆったり保育できるように4~5配置しています。
	③	障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や子ども本人にわかりやすい使い方、また、生活しやすい空間になっているか	12	0	0	1		園舎も見通しのよい造りになっており、バリアフリー化されています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13	0	0	0	・トイレの衛生面が気になることがあった。 ・掃除などいきどどいている。	ご意見も頂きましたのでさらに清潔を心掛けてまいります。掃除・消毒は毎日行い清潔な環境づくりを心掛けています。
適切な 支援の 提供	⑤	児童発達支援計画は、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで作成されているか	11	0	0	2	わんぱくに対してではないが、限られた時間で行う支援には限界があると感じる	限られた時間の中、できる限りお父さんや保護者の方々の思いをくみとった支援計画を作成できるよう、信頼関係を深め大切にしていきます。
	⑥	児童発達支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	1	1	3		支援に必要な項目を選択し、設定して計画を立てています。今後も必要な項目を選択できるように知識を広げていく努力をしていきます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	2	0	2		計画に沿った支援ができるよう、職員で連携を大切にこれからも保育していきます。
	⑧	保育内容が固定化しないよう幅広い活動になるよう工夫されているか	12	1	0		・楽しい活動を考えていて、親子で楽しんでいる ・季節感がある	子どもだけでなく保護者の方も一緒に楽しんでもらっており、嬉しい。これからも楽しい保育を計画していきたい。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	4	1	1	7	普段通っているところが違う	並行通所の為、地域のいろいろな保育所との情報交換などの場にはなっているかと思えます。これからも交流しやすい場面を作っていきたいと思えます。
保護者 への 説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	0	0	1	入園時に説明を受けた。	入園時に説明させていただいています。ご理解いただけるようこれからも努めていきます。
	⑪	児童発達支援計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	11	1	1	0	書類を受け取る際に説明があった。	支援計画を確認させてもらいながら説明させていただき、終了後1部をお渡ししています。わかりやすく説明できるよう心掛けていきます。
	⑫	保護者に対して家族支援として保護者教室・保護者交流会が行われているか	12	0	0	1	交流会がある	年に数回の保護者学習会・交流会を計画し実施しています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	9	3	0	1		月に2回の開催ということもあり、共通理解をしようことは難しいことも多いですが、保育の中で子どもさんや保護者の方からもしっかりと気づいていけるよう努力していきます
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	2	1	3	・保育士と話す時間がなかなかない ・自分から相談することで話すことはできる	月に2回の開催ということもあり、共通理解をしようことは難しいことも多いですが、保育の中で子どもさんや保護者の方からもしっかりと気づいていけるよう努力していきます
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	1	2	5	・年に数回交流ができる ・できていないと思う	保護者会などはない為、交流会などで保護者同士のつながりを深めてもらえるよう努めていきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11	1	0	1		出来る限り迅速に対応できるよう、職員連携を行っています。これからも、適切に対応できるよう努力していきます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	0	0	2	先生が丁寧に子どもや親に目を配ってくれる	園からも積極的に様子などを伝えながら意思の疎通を図り、信頼関係を深められるようこれからも努めていきます。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	10	0	0	3		桃郷通信などで法人の活動等についてはお知らせしています。評価についてはホームページで公表しています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	12	0	0	1		書類等の保管についても厳重に行っていますが、今後も気を付けて管理を行っていきます。

非常時の対応	⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	6	2	0	5		園独自のマニュアルを策定し、閲覧できます。職員で役割分担をし訓練をしたり不審者研修なども行っています。
	⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	2	0	6		園としては月1回訓練を実施。わんぱくとしても消防や警察と連携した活動を取り入れていきます。
満足度	⑫	子どもは通所を楽しみにしているか	12	1	0	0	・親子で通所できる特別な時間になっている	楽しんで通ってくれていること嬉しく思います。ひとりで抱え込まず一緒に子育てさせてもらいたいです。
	⑬	事業所の支援に満足しているか	10	2	0	1	・いろいろな経験ができるのに日数が少なくもったいない	回数が少なく申し訳ありません。さらに保護者の方々の思いに寄り添い、安心して通える園を目指して努力していきます。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。